

第 18 回全国障害者生活支援研究セミナー

「本人中心の支援 と 共生のまちづくり」

日 時 : 2017 年 2 月 11 日 (土) ~ 2 月 12 日 (日)

会 場 : 新宿 NS ビル NS スカイカンファレンス (30F)

NS 会議室 (3F)

(東京都新宿区西新宿 2-4-1)

主 催 : 特定非営利活動法人 全国障害者生活支援研究会 (サポート研)

<http://support-ken.net/>

〈全国障害者生活支援研究会 (サポート研) 事務局〉

〒210 - 0848

神奈川県川崎市川崎区京町 2-24-4-608

TEL/FAX 044-271-8788

E-mail support-ken@forest.ocn.ne.jp

担当 松永・加藤

第 18 回全国障害者生活支援研究セミナー開催要項 「本人中心の支援と共生のまちづくり」

●開催要項

私たち全国障害者生活支援研究会では、「本人中心の支援」を活動の中核的理念として、ずっと掲げ続けてきました。また、そうした理念の前提として、どんなに重い障害がある人でも、かけがえのない本人の意思をもっているという確固たる信念を共有してきました。障害者の権利条約に照らし合わせるまでもなく、「本人中心の支援」は固有の権利として実現されるべきものです。そして、それは福祉実践の場では、支援者との関係性の中でより豊かに力強く形成されていくと考え、支援の質を向上させるために研鑽を重ねてきました。

私たちが微力ながらも営々と積み上げてきた、このような理念と実践を根底から揺さぶる衝撃的な事件が、2016年7月26日に起きました。津久井やまゆり園で19人ものかけがえのない命が奪われた、相模原事件です。現在容疑者は、鑑定留置中であり、犯行動機などの実態解明は司法の裁定を待つしかありませんが、容疑者が発した「障害者は生きていても仕方がない」「安楽死させた方がいい」という言葉は、障害当事者や関係者の心の中に無数の傷とひび割れをもたらしました。

私たちは、改めて共生ということについて、考え抜き、実践の場を固めていく必要性を痛切に感じています。ある意味で切迫した気持ちも込めて、今回の第18回全国障害者生活支援研究セミナーのテーマを「本人中心の支援と共生のまちづくり」と決めました。第1日目の基調講演を日浦美智江さんにお願いました。日浦さんは、重度心身障害児者の地域生活の場を先駆的に切り拓き、文字通り身を持って「本人中心の支援と共生のまちづくり」を実践してきた、私たちの大先輩です。後半のシンポジウムでは、認知症ケアの先端的取組みを地域ぐるみで推し進め、NHK総合テレビ『プロフェッショナル 仕事の流儀』にも出演した加藤忠相さん、「ハウジング・ファースト」の実践でホームレス支援の新しい潮流を引っ張り、「オープンダイアログ」の試みを逸早く進めている精神科医・森川すいめいさん、そして、日浦さんとともに日本における重度心身障害児者の地域生活支援の先駆者でサポート研の盟友である、西宮市社会福祉協議会の清水明彦さんに登壇していただき、それぞれの熱い実践を語ってまいります。

2日目は4つの分科会に分かれて、テーマごとに議論を深め合います。分科会1は「意思決定支援」、分科会3は「エピソード記述」、分科会4は「行動障害」をテーマとしていますが、どの分科会も相模原事件の衝撃を色濃く反映したものになると思います。特に分科会2では、「ほんねでかたろう 共に生きる社会 ～相模原事件を超えて」と題して、相模原事件を正面から見据えて、様々な思いのたけを語りあいます。

○主催

特定非営利活動法人 全国障害者生活支援研究会（サポート研）

○後援（予定）

公益財団法人日本知的障害者福祉協会/社会福祉法人東京都社会福祉協議会/東京都障害者通所活動施設職員研修会/社会福祉法人全国社会福祉協議会全国社会就労センター協議会/一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会/公益社団法人全国精神保健福祉会連合会/公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会/一般社団法人日本自閉症協会/日本障害フォーラム(JDF)/特定非営利活動法人東京都発達障害支援協会/全国自閉症者施設協議会/特定非営利活動法人日本障害者協議会/全国自立生活センター協議会

○参加対象者

障害者の生活支援にかかわる支援者の方 障害当事者とご家族の方 テーマに関心のある方
(手話通訳など何らかのサポートが必要な方は、申込み先までご連絡ください)

○募集定員

300名

○参加費（参加費・資料代）

【両日とも参加】正会員 10,000円 情報会員 11,000円 その他 12,000円(学生 6,000円) 懇親会費別途 5,000円
【1日のみ参加】正会員 6,000円 情報会員 6,500円 その他 7,000円(学生 3,500円) 懇親会費別途 5,000円

○申込締切

2017年1月27日(金)。1日目・2日目ともに、定員に達した段階で締め切らせていただきます。

○申込受付

参加申し込みは別添申込用紙にて、京王観光調布支店まで郵送またはFAXにてご送付下さい。

申し込み 問合せ先	京王観光 調布支店 (担当: 大野) E-mail t.ono@keio-kanko.co.jp 〒182-0024 東京都調布市布田3-1-7 池田ビル5階 TEL 042-484-2881 FAX 042-484-1321
--------------	--

○日 程・会 場・内 容

◎1日目 2017年2月11日(土)

9:30~10:00	10:00~10:10	10:10~12:00	13:00~17:00	18:00~20:00
受 付	開会挨拶	基調講演	シンポジウム	懇親会
新宿NSビル NSスカイカンファレンス ホールA・B(30F)				だん家

●全体会(10:00~17:00)

◇会場 新宿NSビル NSスカイカンファレンス ホールA・B(30F)

東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル 代表TEL 03-3342-3755

(29F・30F専用シースルーエレベーターにて30Fへお越しください。他のエレベーターは不可。)

◆開会挨拶(10:00~10:10)

赤塚 光子(当代会長)

◆基調講演(10:10~12:00)

「歩んできた道」日浦 美智江(横浜市栄区社会福祉協議会会長 訪問の家前理事長・神奈川)

◆シンポジウム(13:00~17:00)

「本人中心の支援と共生のまちづくり」

シンポジスト 清水 明彦(西宮市社会福祉協議会・兵庫)

森川 すいめい(精神科医・東京)

加藤 忠相(あおいけあ・神奈川)

コーディネーター 松永 徹(翔の会・神奈川)

●懇親会(18:00~20:00)

◇会場 「だん家」 新宿NSビル 29F

◎2日目 2017年2月12日(日)

9:00~9:30	9:30~12:00	13:00~15:30
受 付	分科会	分科会
新宿NSビル NS会議室 3階会議室		

●分科会(9:30~15:30)

◇会場 新宿NSビル NS3階会議室 (3F)

東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル 代表TEL 03-3342-3755

(2日目の会場へは、エスカレーター又は低層階用エレベーターでお越しください。)

分科会1: 3M会議室

分科会2: 3J会議室

分科会3: 3H会議室

分科会4: 3G会議室

事務局: 3E会議室

※分科会は、後掲「各分科会のテーマ及び要旨」をご覧のうえ、いずれか一つをお選び下さい。

※会場は変更になる場合がございます。その際は、当日までにご案内いたしますのでご了承ください。

○セミナー事務局

<全国障害者生活支援研究会（サポート研）事務局>

〒210 - 0848 神奈川県川崎市川崎区京町 2-24-4-608 TEL/FAX 044-271-8788

E-mail support-ken@forest.ocn.ne.jp 担当 松永・加藤

○会場アクセス

新宿NSビル

ＪＲ線・京王線・小田急線・東京メトロ丸の内線	新宿駅	「南口・西口」	より徒歩7～8分
都営地下鉄線（新宿線）・京王新線	新宿駅	「新都心口」	より徒歩約6～7分
都営地下鉄線（大江戸線）	都庁前駅	A3出口	より徒歩約3～5分

○会場周辺案内図



※ JR新宿駅南口より地下道ワンデーストリートを使いますと雨に濡れずにお越しになれます。

○各分科会のテーマ及び要旨

分科会 1 意思決定支援

◆本人の思いを聴き、本人に寄り添ってそれを実現することこそ意思決定の支援だ

本人中心の支援の要となる意思決定について、支援の実際から考えていきたいと思います。どんなに障害の重い人であっても、意思をもっています。そして、本人の意思を発現するためには、それを聞き取る存在を欠かす事ができません。相互的な関係により、より豊かにはっきりと本人の意思が立ち現れ、それに支援者はつき動かされて、実践を行います。本人の思いを聴き、本人に寄り添ってそれを実現することこそ意思決定の支援だと考えます。

今回は意思決定の支援をめぐり、問題提起と実践報告、グループ討議を行います。この分科会を通じて意思決定の支援についてより理解が深まり、日々の実践がより充実しえるものとなることを願います。グループ討議では、意思決定の支援について実践を持ちより、意見交換を行います。事例をA4判一枚程度にまとめて、コピー10枚をお持ちよりください。文書にまとめるのが難しい場合は、口頭発表でも結構です。

9:00 受付開始

9:30 趣旨説明

9:35 問題提起「意思決定の支援～『意思決定支援』は、本当に本人中心に行われているか？」

発言者：小林 博（藤沢育成会・神奈川）

10:50 休憩

11:00 実践報告①「繋がりの中で夢を叶える～札幌の地下鉄は本当にゴムタイヤでした！」

講演者：千葉 聡（県央福祉会・第3ゆりの木ホーム 利用者・神奈川）

支援者：岩瀬 一郎（藤沢育成会・ふらっと 相談支援専門員・神奈川）

11:30 実践報告②「重症心身障害のある本人の思いと意思に寄り添う支援」

講演者：庄司七重（訪問の家・朋 施設長 神奈川）

12:00 昼食

13:00 グループ・ディスカッション

「本人の思いを聴き、その意思を実現していくために」

15:30 終了

分科会 2 本音で語ろう、ともに生きる社会

◆ 相模原事件を超えて…本音で語ろう、ともに生きる社会

障害者差別解消法が施行された年におきた相模原事件は、日本社会の深層に障害者排除の思想が根深く潜在することを鮮明に示しました。さらに、被害者の氏名が公表されないことをはじめ、一人の市民としてしての暮らしが保障されていない現実があらためて突き付けられることとなりました。

私たちは、障害のある人が地域社会の中で生き生きと暮らせるように、本人中心の支援を目指し、障害当事者と支援者との関係のあり方や支える制度についての論議を深め、各地での実践を進めてきました。今改めて、「ともに生きる社会」にむけて何をしなければならぬのかを、本音で語りあいたいと思います。

午前の講演では中野敏子さんに私たちに求められている課題を整理していただき、午後は各地の支援者の方から、それぞれが問われていることを現場の実践にひきつけながら語ってもらおうと思います。是非、多くの皆さまの参加を呼びかけます。

- 9:00 受付開始
- 9:30 趣旨説明 柴田洋弥（日本自閉症協会・東京）
- 9:45 基調講演「相模原事件を超えて…私たちに求められる課題」
講師 中野敏子（明治学院大学名誉教授）
- 12:30 本音で語る「ともに生きる社会」
- 司会 明石洋子（あおぞら共生会・神奈川）
- 語る人 清水明彦（西宮市社会福祉協議会・兵庫） 下郡山和子（つどいの家・宮城）
田口道子（性搾取問題と取り組む会・東京） 田口道治（あゆみの家・岐阜）
田部井恒雄（全国障害者と共に歩む兄弟姉妹の会・神奈川）
藤内昌信（ともにネット・東京） 中島博幸（風の谷・神奈川）
中西昌哉（ベタスダの家・京都） 名里晴美（訪問の家・神奈川）
山西孝（白樺園・山梨）
- コメンテーター 中野敏子・尾上浩二（DPI日本会議）

分科会3 エピソード記述

◆ 関係の中で人は生きる

障害をお持ちの方の生きにくさの理由は、障害をお持ちの方、本人の内部にあるのではなく、社会に本人の思いや他者との関係性、暮らしについての理解と応える適切な支援がないことによると言われます。そこで本人を変えようとするのではなく、本人と支援者とのふれあいの中で本人の思いを感じ、本人の思いに添うことで環境に向き合う際の不安を共有し、支える支援者との理解と関係がつくられるのではないのでしょうか。

本人の理解と支援の希薄な中で、支える側に困難さが生じ、疲弊し、そこに障害者に対する差別意識が生じることが想像に難しく、その中核は支援者が本人の思いを感じ、本人の環境や他者との関係性を理解出来ないことによるのではないのでしょうか。

鯨岡峻先生の提唱されるエピソード記述は、エピソード記述を用いて支援者の意識に浮かぶ思いから本人の思いを感じ、理解する試みです。それは、支援者の内面に映る接面の体験をエピソードとして取りだし、支援者自身の情動の軌跡を追体験し、それへの共感を試み、本人の思いや関係性を考えること「ひとがひとをわかろうとする」了解可能性に向かう試行であると思います。それがサポート研エピソード記述研究会のテーマです。

支援者が支援を行う根拠は、あらかじめ決定されている価値観、基準、機能的論理に基づいて得られるものだけでは不足であり、主観、支援者の意識に映る、不安や要求、素朴な思いを受けとめることが必要です。それはふれあうその時に、ひととひととが相互に相手の内面のひびきとして浮かび上がるものではないのでしょうか。

鯨岡先生に講義とエピソード記述を用いた事例報告とその議論にもご参加いただくサポート研エピソード記述研究会がそのような支援を考える機会となることと思います。

- 9:30 趣旨説明
- 9:45 講義 鯨岡 峻（京都大学名誉教授）
「関係の中で人は生きる ～接面の人間学に向けて」（質疑含む）
- 12:00 昼食
- 13:00 エピソード記述を用いた事例発表
- 15:30 終了

分科会 4 行動障害

◆ 共有しよう！本人主体の支援！～「意味了解的アプローチ」を通して

本分科会は、サポート研が発足後 10 数年にわたり、多動、自傷、攻撃行動、こだわりなどの行動障がいの問題を中心に、実践と理論を関連づけながら「本人中心の支援のあり方」を一貫して追求してきました。

これまで日本各地で様々な取り組みがなされていると思いますが、激しい行動や意味の分かりにくい行動をする人たちへの理解や対応については、悩み奮闘している支援者・事業所は多いのではないのでしょうか。日々行動の対応に追われていると、支援者は「思いが通じ合えて良かった！」との実感が得られず、利用者に対していらだちや怒りを募らせることとなります。それが心理的・身体的虐待に発展する場合や、疲弊し自信を失う支援者も出てきます。

しかし一方、行動の背景にある心に焦点を当て、生活の中で本人の困り感、意思や思いをしっかりと受け止めて、本人が安心して自信を持って意思や気持ちを表現できるようチームワークで関わることができれば、確実に行動障がいは改善していきます。本人が落ち着くだけでなく、支援者も前向きな気持ちで支援できるようになります。

そこで今回は、「どんな行動にも意味がある」との考えに立ち、本人の立場に立った理解と支援の視点を「意味了解的アプローチ」として提示することを通して、行動障がいのある人（幼児・学齢児・成人）に対して、私たちが目指す方向を明確にし、そこに向けて実際にできること、してはいけないことを皆さんと一緒に考えたいと思います。

行動障がいの問題は、支援者一人で太刀打ちできません。それゆえ事業所全体が「本人主体の支援の視点」を共有しつつ、チームで取り組むことが望まれます。単独の参加だけでなく、可能であれば一事業所から複数の職員の参加をお勧めします。

幼児期・学齢期・成人期の支援に携わる多くの方々の参加をお待ちしています。

- 9:00 受付開始
- 9:30 趣旨説明 山下尚郎（ルーテル学院大学大学院付属 包括的臨床コンサルテーション・センター・東京）
- 9:45 講演「本人主体の支援と“意味了解的アプローチ”」
岩崎隆彦（水仙福祉会 姫島こども園・大阪）
- 11:45 質疑応答
- 12:00 昼食
- 13:00 グループ・ディスカッション
「本人の立場に立った理解と支援」について
- 15:15 まとめ 赤塚光子（当会会長）
- 15:30 終了

第18回 全国障害者生活支援研究セミナー

セミナー・懇親会参加及び宿泊申し込みのご案内

会議の参加及び宿泊の申し込みは、京王観光(株)調布支店が代行させていただきます。
お申し込みは別紙申込書で郵送又はFAXにてお願い致します。

- ★ セミナー日程 2017年2月11日(土)～2月12日(日)
- ★ セミナー会場 2月11日(土) 新宿NSビル スカイカンファレンス ホールA・B
2月12日(日) 新宿NSビル NS会議室
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル TEL 03-3342-3755
- ★ 参加費 【両日参加】正会員 10,000円 情報会員 11,000円
一般 12,000円(学生6,000円)
【1日のみ】正会員 6,000円 情報会員 6,500円
一般 7,000円(学生3,500円)
- ★ 懇親会 費用 5,000円 場所:新宿NSビル 29F「だん家」
- ★ その他 遠方からのお越しで宿泊希望の方は宿泊手配を承ります。
2017年2月10日(金)～2月11日(土)を含む2泊

【ご宿泊施設】※お部屋タイプはシングルルームのみの設定となります

新宿ワシントンホテル (新宿駅西口駅徒歩約8分) <small>ご宿泊料金(1泊あたり)／朝食付き・税金サービス料込み *NSビル(セミナー会場)まで徒歩約3分</small>	〒160-8336 TEL 03-3343-3111		東京都新宿区西新宿3-2-9 FAX 03-3342-2575	
	2/10(金)泊	@14,000円	2/11(土)泊	@16,500円
京王プレッソイン新宿 (新宿駅西口駅徒歩約9分) <small>ご宿泊料金(1泊あたり)／朝食付き・税金サービス料込み *NSビル(セミナー会場)まで徒歩約5分 *朝食は簡易朝食(パン・コーヒー・ジュース)になります</small>	〒160-0023 TEL 03-3348-0202		東京都新宿区西新宿3-4-5 FAX 03-3348-0203	
	2/10(金)泊	@10,500円	2/11(土)泊	@10,500円
新宿ニューシティホテル (新宿駅西口駅徒歩約14分) <small>ご宿泊料金(1泊あたり)／朝食付き・税金サービス料込み *NSビル(セミナー会場)まで徒歩約7分 *新宿駅西口～ホテル間送迎バスあり(所要約5分)</small>	〒160-0023 TEL 03-3375-6511		東京都新宿区西新宿4-31-1 FAX 03-3375-6535	
	2/10(金)泊	@13,500円	2/11(土)泊	@13,500円
サンメンバーズ東京新宿 (新宿駅西口駅徒歩約10分) <small>ご宿泊料金(1泊あたり)／朝食付き・税金サービス料込み *NSビル(セミナー会場)まで徒歩約5分</small>	〒160-0023 TEL 03-3349-8601		東京都新宿区西新宿3-5-13 FAX 03-5322-7453	
	2/10(金)泊	@12,500円	2/11(土)泊	@12,500円


ご宿泊取消料のご案内(宿泊日を基準とします)

取消日	30～15日前	14～08日前	07～04日前	03～02日前	前日	当日
取消料率	10%	15%	30%	50%	80%	100%

★ お申し込み方法

セミナー及び宿泊のお申し込みは、京王観光(株)調布支店あて別紙申込書で郵送又はFAXにて1月27日(金)までにお申し込みください。参加受付後、参加書類及び費用振込み案内を2月上旬頃送付させていただきます。

★ お問い合わせ先

 **京王観光** 京王観光(株)調布支店 〒182-0024 東京都調布市布田3-1-7 池田ビル5階

TEL 042-484-2881 FAX 042-484-1321 担当:尾澤・大野

営業時間:月～金曜日 9:00～18:00(土・日・祝日はお休みです)

第 18 回 全国障害者生活支援研究セミナー申込書

申込日： 年 月 日

お申込締切日：2016年1月27日（金）必着

★ ご注意：申込書のコピーをお控えとしてお取下さい。

都道府県名		勤務先				
参加書類等 送付先	〒 _____					
		TEL	()	FAX	()	
参加者氏名（ふりがなをふってください）		役職	区分	参加希望日	希望分科会	懇親会
ふりがな	男・女		正会員	2月11日（1日目）のみ	1 ・ 2 3 ・ 4	参加 ・ 不参加
			情報会員	2月12日（2日目）のみ		
			一般学生	両日とも参加		
ふりがな	男・女		正会員	2月11日（1日目）のみ	1 ・ 2 3 ・ 4	参加 ・ 不参加
			情報会員	2月12日（2日目）のみ		
			一般学生	両日とも参加		
ふりがな	男・女		正会員	2月11日（1日目）のみ	1 ・ 2 3 ・ 4	参加 ・ 不参加
			情報会員	2月12日（2日目）のみ		
			一般学生	両日とも参加		

宿泊希望	宿 泊 日		希 望 ホ テ ル		部 屋 タ イ プ
有 無	2/10(金) (前泊)	2/11(土) (当日泊)	第一希望：		1・シングル
			第二希望：		2・ツイン (どちらかに○印をお付け下さい)

★ 各ホテルの部屋数には限りがございますので、お早めにお申し込み下さい

★ 上記申込書に必要事項をご記入の上、下記あてに郵送又はFAXにてお申し込み下さい。

お申し込み先 **KEIO 旅 京王観光** 京王観光株調布支店 〒182-0024 東京都調布市布田 3-1-7 池田ビル5階

TEL 042-484-2881 FAX 042-484-1321 担当：尾澤・大野

営業時間：月～金曜日 9：00～18：00（土・日・祝日はお休みです）